

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

洛西ニュータウンのタウンセンター施設は、商業・業務機能の中心的な役割を担っているが、ニュータウン近郊における大規模商業施設や新たな開業計画などの現状を踏まえると、他の大規模商業施設とは異なる地域密着型の“利便性と付加価値の高いサービス・空間を提供“して商業活動が空洞化しない様々な活性化策を講じることが一層求められる環境下にある。

(1) 高齢者に対する買い物サポートや地域密着型の新たなサービスの提供を希望する居住者にターゲットを絞った戦略。(2) 育児を終えた母親世代のボランティア団体に活動場所を提供し、活動団体のサービスを求める母親たちがタウンセンターを訪れる契機を創り出すなどが考えられる。

タウンセンターには買い物施設としての機能だけではなく、ニュータウン居住者の多様な活動と活発な情報発信を行うための機能も忘れてはならない。(3) リタイア世代の増大に伴う新たな活動を行う機会の増加。働き方の多様化に伴い在宅で仕事をする若い世代の台頭。ニュータウンの中で日中の多くの時間を過ごし、かつ創造的な活動をする居住者が、自宅だけで生活を完結するのではなく、外に出て、仕事やデスクワークを長時間気兼ねなく行うことのできる場所を確保することや、そこでの他者との出会いを通じたコラボレーションに対するニーズは今後高まってくると考えられる。こうしたニーズに対応した空間を開設することは、タウンセンターの付加価値を創造することにつながると考えている。

さらに、(4) 洛西ニュータウン周辺には地域資源が豊富に存在する。タウンセンターの魅力向上にこうした地域資源の活用は不可欠である。とりわけ大原野地域で四季を通じて収穫される農産物の魅力を発信するためには、直売だけではなく、農産物を新たな視点から活用する方法を具体的に提案することが必要である。

一方で、ニュータウン内では戸建住宅地を中心として空き家が目立つとともに、商店街においても利用者の減少だけではなく、空き店舗も発生している。空き家の流通促進のために、ニュータウンとその周辺地域にある空き家所有者に対する活用提案の実施、ニュータウン居住に関心のある居住者に対する相談窓口の設置、また、商店街については、地域商店街のチラシ等広告物のデザイン制作と印刷及びイベントの企画・運営の支援等を構想している。

上記のようなサービスや場の提供を通じて、ニュータウンの居住者のライフスタイルは再編されるであろう。ニュータウン居住の付加価値となる新たなサービスや場を主体的に活用することで実現しうる新たなライフスタイルを発信し、タウンセンターを発信拠点とする、ニュータウンとその周辺地域の魅力の創造に資する活動を実践する。

以上のように、洛西ニュータウンの中心地区に人が集まる仕掛けなど「タウンセンターの新たな魅力の創造」を支援するのが本NPOのミッションである。

- (1) 高齢者に対する買い物サポートサービスの提供
- (2) 子育て世代の交流の場の提供
- (3) 人材を発掘し雇用機会を促進する事業
- (4) 大原野地域の農産物等の魅力発信
- (5) ニュータウンおよび周辺地域の空き家流通促進事業
- (6) 地域商店街の広報活動支援やイベント運営支援
- (7) 新しいニュータウンのライフスタイルの提案と発信事業

をタウンセンターの付加価値を創造する具体的な試みとして実施する。

ニュータウン居住者の施設ニーズを実現することはタウンセンターの新たな役割であり、他の大規模商業施設では提供出来ない地域密着型の“付加価値の高いサービス・空間を提供する場”として新たな魅力を創出し再編することは可能である。本NPOはニュータウン内の居住者、ボランティア活動団体、施設運営者、ニュータウン隣接の農業従事者、まちづくりの専門家等、多様な主体から構成される。巨額の資金の投資に依存した施設再編ではなく、ニュータウン内外で精力的な活動を行う協力可能な個人や団体を発掘し、こうした個人や団体のコラボレーションを通じて「タウンセンターの付加価値を創造する」ことは、持続的な再生という、ニュータウンの再生にとって最も重要な意義を実現することにつながる。本ミッションを実現するにはタウンセンター等事業主からの支援は欠かせないところであり、タウンセンターの活性化を通して地域経済活性化の促進に寄与することを目的としてい

る。本ミッションを実現するにはタウンセンター等事業主からの支援は欠かせないところであり、タウンセンターの活性化を通して地域経済活性化の促進に寄与することを願っている。

2 申請に至るまでの経過

- 2011年7月 タウンセンター活性化策論議スタート
- 2011年8月 CR 会議スタート（産学官民の幅広い発想力が実効性を伴うと判断しメンバー構成）
- 2011年10月 第1フェーズは巡回バスの成立性検討
- 2011年11月 ニュータウン内外の巡回バス等情報収集、既存バス路線等比較調査
- 2012年4月 自主運行費用試算し比較検討
- 2012年5月 シャトルバス、リース、自主運営等実証実験想定し比較検討
- 2012年6月 情報集約、分析の結果、巡回バスは現時点では予算及び調整機関との整合性がとれないと判断
- 2012年7月 第2フェーズでは予算の有効性と即効性を検討
- 2012年8月 タウンセンターへの集客と住民生活の利便性検討、企業のCSRも視野
- 2012年9月 3本柱をまとめる；買い物サポート、コワーキングスペースで人材発掘、大原野野菜ブランド化
- 2012年10月 法人化検討し合意
- 2012年11月 NPO 活動趣旨検討
- 2013年1月 準備会発足。買い物サポート実証実験
- 2013年2月 定款等準備

2013年4月17日

特定非営利活動法人らくさいライフスタイル

設立代表者 京都市西京区大原野西境谷町二丁目9番地22棟208号

氏名 村下 恒雄 印